

コロナ変異ウイルスの感染予防のお願い

(コロナ感染予防関連 第16報)

なるぞ

コロナ感染拡大第8波の感染者情報にご注意ください！これから感染拡大の兆し

全国での新規感染者が第7波の終息後、**新型コロナ感染者数**が、全国で急速に増えています。専門家の中にはすでに「**第8波に入った**」という指摘もあります。加藤勝信厚生労働相は2022年11月9日、**感染者数が2週間後には第7波のピークを超える可能性がある**と、注意喚起しています。

インフルエンザの予防接種を！

新型コロナウイルスに加え、**インフルエンザ、ノロウイルス等の流行時期**となってまいりました。これらの感染症の感染予防と早期発見、拡大防止の徹底を図るため、当事業所においても、**コロナウイルス感染予防と併せて**、下記の対応を実施していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

毎回お願いしています

ご家庭でお願いしたい対応

■インフルエンザ予防接種にご協力ください

- ・重症化・集団感染を防ぎます。
- ・接種終了後は事業所までお知らせください。

■毎日の体調確認にご協力ください

- ・ご本人、ご家族皆様の毎朝の体温測定、体調チェック

■下記①～③の状態が見られた時点で必ず事業所までご連絡ください！

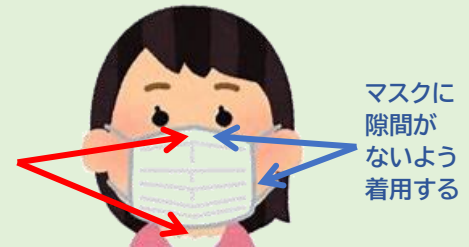
- ①ご利用者様に**発熱・倦怠感・咳・鼻水等**、風邪症状やインフルエンザ症状、コロナ症状が見られたとき
→ ご本人の利用経過を詳しく確認させていただきます。その上で事業内で感染予防対策を立てます。同時にご家庭内での感染予防、医療機関への受診を促します。
- ②ご利用者の周辺(ご家族や近親者等)の中で**コロナウイルス陽性者**、または**濃厚接触者**が出た場合
- ③上記以外、**気になる状況**がある場合

■マスクをご着用ください(家庭内でも)

- ・陽性者の**96%**はマスク着用があれば感染が防げたと言われております。人がいる場所、会話するときはマスクの着用をお願いします。

- ・正しいマスクの着用をお願いします

鼻やあごを出さない



■サービス利用中の体調変化

- ・サービス利用中に体調が悪くなった場合は、ご家族等がお迎えのうえ、医療機関の受診をお願いしています。いつでも連絡がとれるご家族様を決めておいてください。

毎回お願いしています

事業所ご利用に関する対応とお願い

■利用者様に体調不良がみられる場合

- ・感染症や**発熱・咳・喉の痛み・下痢・嘔吐**などの症状でお休みされる場合は、職員がその症状を詳しくお尋ねさせていただきます。
- ・訪問看護事業所においては、**リハビリ職員の訪問を看護職員による体調確認目的で対応させていただく場合があります。**
- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所においては、**通いサービス**を訪問サービスに変更して対応させていただく場合があります。

■職員に多数の陽性者や濃厚接触者等が発生し、自宅待機者が増えた場合

- ・この場合、事業所での感染は起こらない状況でも職員が少人数での対応となり、通常の事業運営が困難になることが想定されます。

- ・通所は可能ですが、**リハビリや入浴等の予定されたサービス**が一部出来なくなる場合があります。ご理解ご了解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

■職員、利用者・入居者に感染陽性者、濃厚接触者が出て、保健所の指導下になった場合

- ・弊社事業所においてご利用者様や職員への感染等が発生した場合は、感染拡大防止のため保健所の指導により**臨時休業措置**となることがあります。ご了解ください。
※休業になった場合、必要に応じ別の事業所での臨時的なサービス利用の検討にケアマネジャーとご相談ください。

コロナウイルス感染予防の対策について、国の発信内容も変化しています。社会活動が停滞しないような考えを優先し、外出を制限するような当初の厳しい対策をしない傾向にあります。ウイルスの弱毒化、治療方法の発展、死亡率の低下も背景にあります。一方で、医療の逼迫や、介護現場の混乱は変わらず問題となっています。人流が増え一般の人の感染が更に拡大し、基礎疾患を持つ人や高齢者、弱者への感染リスクは当初より高まっていくと考えられます。

利用者や従業員に感染者が発生したとき、今まで通り、入所は有事介護、通所は営業停止といった対応となります。この頻度が高めれば、地域の介護が崩壊します。そうならないよう、**一層事業所も感染予防に徹していき**ますが、ご利用者様・家族様には**一層のご理解とご協力の程**、よろしく申し上げます。



うつらない！感染予防を生活習慣に なるざ作成

ご利用の皆様には、ご自身やご家族・その他近親者等の健康と、通いの場の安全を守るために、日々の生活で感染予防に努めていただけると幸いです。

下記は、現在出されている様々な情報を「なるざ」がまとめたものです。



自宅内での感染予防

- ① ご自宅内でも自分、または家族等誰かが体調がすぐれない場合は、同居者全員がマスクを着用しましょう
- ② 部屋の換気はこまめに行うようにしましょう
- ③ 手すりやドアノブなど、頻回に触れる場所は拭き清掃を行いましょう
- ④ 洗濯と掃除はこまめに行いましょう
- ⑤ 乾燥を避けましょう。湿度40%以上が目安です
- ⑥ 環境整備の前後には手指衛生をしましょう
- ⑦ 食事は家族一人ひとりのお椀や小皿に分けて出しましょう

Point ● マスクが正しく装着されているか、手指衛生が正しく行えているか換気を実施しているかなど家庭内で定期的に確認しましょう



家族で相談！
時間を決めて
やってみましょう！
●換気(部屋の空気入れ替え)
●よく触れる場所の掃除
●手洗い・手の消毒

洗濯や清掃は重要！
ウイルスは
数日間生きると
言われています！



自宅での健康管理

- ① ウイルスに負けない身体をつくりましょう
- ② 食事・睡眠・休息をしっかりとり、心身の疲れを溜めないようにしましょう
- ③ 不安な気持ちを感じたら誰かに相談しましょう
- ④ 体調不良がみられるときは無理をせず休みましょう
- ⑤ 毎朝体温を測り、発熱時は医療機関を受診し、通っている場所があれば連絡しましょう

Point ● インフルエンザ流行の季節です。インフルエンザの予防接種を受けましょう

不活発にならない！
前向きな気持ち！



外出するとき

- ① 3密(密集、密接、密閉)は避けましょう
- ② 必ずマスクをつけ、他の人との距離をとるようにしましょう
- ③ 外出先での手指の消毒を習慣づけましょう

Point ● 多くの人が触るものに触れた手で自分の顔を触らないようにしましょう



カバンやお車に
携帯用スプレー
1本もありません



いろんな場所で
いろんなものに
「触れる」ことへの
注意力を！



外出先の屋内で(ショッピングセンターや公民館等)

- ① はじめに手指衛生(石鹸による手洗い30秒・手指消毒)をしましょう
アルコールが用意されていれば利用しましょう
- ② マスクを着用しましょう
- ③ 食事中は話さない、食事が終わったらマスクをした上で話をしましょう

Point ● マスクを外している時は、おしゃべりをしないようにしましょう

??



帰宅したら

- ① 外から戻ったら手指衛生(石鹸による手洗い30秒・手指消毒)をしましょう
- ② 着替えた後にマスクを外し、もう一度手指衛生を行いましょう